

会報

No. **119**

令和3(2021).10.1

神戸市立名谷図書館が開館しました

神戸市立名谷図書館 館長 芳賀 由紀子

神戸市内12番目の図書館、同一区内に2館目として3月末、百貨店内という全国でも珍しい立地に、館外のオープンスペースを含む約1,298㎡の名谷図書館が新設されました。7万冊収容可能な書架に、7月現在、5万2千冊を所蔵しています。

神戸市営地下鉄沿線のニュータウンの中でも早くから宅地開発が行われ、高齢化も進む名谷地区は、神戸市が打ち出した人口減少対策「リノベーション・神戸」での駅前拡充が挙げられその施策のひとつとして名谷図書館が誕生しました。駅前から徒歩圏内には、予約図書が受け取れるサービスポイントが設置されており、読書の需要も高い地域です。設置への関心の高さは、事前の住民アンケートを実施した際に、全回答者のうち3割以上が図書館をあまり使っていない方だったことから伺えました。また、開館前の事前登録でも3千人近い方へ図書館カードを発行しました。

図書館カード作成の事前登録の他に、大丸須磨店前（名谷駅前広場）において、館内に置くスツール作成ワークショップ、INAC神戸の選手によるビデオメッセージ放映、自動車図書館の出張展示等のイベントを開催しました。多くの方にご参加いただき、ワークショップの定員はすぐに埋まってしまいました。当日は好天に恵まれ、自動車図書館や絵本コーナーの図書を思い思いに手に取る姿が見られ、盛況のなか終えることができました。

市内小学校の校庭のヒノキを使用した丸太ベンチが入口前に置かれ、六甲山の間伐材を始めとした木を多用した空間は木の香りとともにあたたかみを感じられ、ガラス張りの壁面は開放的な空間を作り出しています。



『TOMARIGI』と名付けられたこの図書館には「日々の暮らしのなかで、仕事や学校帰りに本を楽しみ憩える空間。ここで過ごした子どもたちが大きくなって街を離れても、帰ってきたときにはまた訪れて、ひと息つけるような空間。そんな温かな場所になるように」という願いが込められています。

そんな館内は、木の温もりあふれる「おはなしの部屋」や寝ころびスペースといった子育て世代が気軽に楽しめるエリアや、利用目的に合わせた自習席や落ち着いた読書ができる閲覧席があり、幅広い世代に活用いただける場所となっています。また、「人気の本は貸出中になってしまっていて読めない」「読みたい本がない」という声に応えるため、19テーマに沿って選書し、予約の多い図書であっても館内閲覧のみにした図書を配架する「テーマ棚」という、市内では名谷図書館だけの書架を設けています。



さらに、市内では初めて座席予約システムを導入しています。館内の座席のうち約3分の1が予約席です。1日180分を上限に、来館時に当日の空いている席の予約をしてから、利用ができます。上限時間を始めた制限があるため、座席の独占がなく、多くの方に利用いただけています。

コロナ禍での開館のため、座席間のアクリル板の設置といった設備面での対応のほか、開館当初の1週間は「3密」を避けるため、入館整理券を配布し、1時間ごとの完全入替制で、滞在時間や人数の制限を行いました。その後滞留人数を確認する対策に変更しました。4月からは指定管理者が運営を行っています。開館を計画された方々の思いや、開館前に寄せられた期待に応えられるよう、まちづくりの一助になれるよう、居心地のいい図書館を目指し、スタッフ一同、努めていきたいです。

津名図書館リニューアル

淡路市立津名図書館 館長 するす 摺白 ひろあき 宏明

淡路市立津名図書館が今年の3月28日にリニューアルオープンしました。場所を移し、面積も以前の約2.5倍となる1,983.14㎡となり、広々とした図書館となりました。

淡路市立図書館基本計画の基本コンセプト「ひと・知識・情報との出会いの場」をもとに、建設に際しては、「にぎわいが溢れてまちの新たな顔となる図書館」を目指し検討を重ね、工夫をしております。



大きな特徴として、交流エントランス・展示ギャラリー・キッズコーナー等が新しく設置されました。交流エントランスは、誰でも、いつでも訪れられて、気軽に過ごせる場所です。話をしたり、展示を楽しんだり、情報発信にも活用できます。出会いと交流を育む、広場のようなスペースです。



展示ギャラリーは、展示壁や展示ケースを活用し、自由な発想で作品展示ができるスペースです。キッズコーナーは、小さなこどもたちにも気軽に素足で遊べる場所です。

これらの場所につきましては、人と人との出会いの場として、多くの人に利用して頂けたらと思います。

図書館機能として、児童書エリアでは、曲面的な書架の配置や、隣接するおはなしのへやでは、扉やカーテンで間仕切ることによって個室化できるなどの工夫をしております。一般書エリアでは、天井高を高くし、面積も広くなり明るく開放的な場所となっております。また、友達や仲間と机を囲んで読書や一緒に勉強したりできるティーンズコーナーを設置しております。その他、工作やお絵描きができるスタジオや音を鳴らせるスタジオ、日常の自習室やグループ学習、セミナーや講演会などの目的に利用する大小二つの活動室があります。



開館後の利用状況は、以前よりも多くの方が来館されております。同時に貸し出し冊数も増えております。今、新たなスタートを切ったところです。これからの図書館は何をすべきか、利用者と一緒に考えていきたいと思っております。今後も、多くの方に利用される図書館を目指していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

最後に、みなさんの来館をお待ちしております。

写真：笹の倉舎/笹倉洋平

来フアリ～

2館の雑感

加古川市立加古川立図書館 おぎうち かずひこ
荻内 和彦

職業人生の後期に、いい職場仲間に助けられ、楽しく仕事を続けています。同様に有り難いのは、すばらしい2つの図書館に勤務できていることです。

最初は中央図書館で、一般開架部分は、天井が高くドーム状になっています。南面はほぼガラス張りになっており、自然光が差し込み、四季折々の公園の景色を眺めることができます。特に桜が咲く時期、窓越しに見る景色が感動ものです。窓枠が額縁となりパノラマ状の美しい写真を眺める感じです。仕事中の秘かな楽しみでした。

次に、加古川図書館で、築86年の昭和初期の趣を残す建物です。重厚感があり、落ち着いた雰囲気を感じます。しかし、建物の老朽化が深刻となり、10月に、駅前の商業施設内に移転します。閉館が決まった後、たくさんの利用者から懐かしく、惜しまれる声を聞き、地域の人に親しまれ、気軽に利用されていた図書館だったと感じました。

新しい図書館は、最新の設備と駅近の利便性で、利用者増が予想されます。利用者にとって居心地のいい場所になることを願います。

図書館職員として

兵庫県立図書館 きむら けんたろう
木村 健太郎

今年の4月より、新規職員として兵庫県立図書館に配属となり、兵庫県図書館協会の事務を担当させていただきます。

もともと読書が趣味で、今も年間50冊は読むようにしています。図書館配属が決まった際は嬉しかったのですが、コロナ禍での採用ということもあり、同期と直接会う機会はほとんど無く、研修もオンラインで行われるなど不安なスタートとなりました。

事務においても、”公務員”の仕事の進め方を覚えるのに悪戦苦闘しており、利用者の方や当館職員はじめ、加盟館職員のみなさまにもご迷惑おかけしてしまっていること、日々反省するばかりです。

そんな中でも、利用者の方からお礼の言葉をいただいた時や、一つの案件をやり切った(ことはまだないですが)時、思わぬ本との出会いがあった時には、図書館職員をやっていてよかったと実感できます。

まだまだ未熟ではありますが、みなさまにも温かい目で見守っていただければと思います。

また、締切も守っていただければなお幸いです。よろしく願いいたします。

私も成長する有機体

伊丹市立図書館 やすだ まりこ
安田 麻里子

このたび、永年勤続ということで表彰にあずかりました。周りの皆さまに支えられて15年間大過なく勤めることができました。この場を借りて御礼申し上げます。

さて、インドの図書館学者ランガナタンが提唱した「図書館学の五法則」の一つに「図書館は成長する有機体である」という言葉があります。学生時代には聞き流していた抽象的な言葉の真意をつかんだのは、伊丹市立図書館に身を置くようになってからです。15年の間に当館はインターネットを通じた予約サービス、自動貸出機の導入、高齢者向けの資料を集めた棚の設置など、時代の流れとともにサービスの形も変えていきました。そして昨年より続くコロナ禍で、当館を含む全国の図書館が非来館、非滞在を前提とした新たな図書館機能を模索しているところです。まさに図書館は社会や生き物の要求に応じて成長する生き物(有機体)だと実感しております。

私も有機体の一部として旧来の枠にとらわれない柔軟な姿勢を心掛け、より一層の精進を重ねてまいります。

協会からのお知らせ

創立90周年記念事業 運用スタート

9月22日(水)より、創立90周年記念事業として研修用DVDの貸出しを開始しました。

みなさまよりご回答いただいたアンケートをもとに購入した計25種類を用意しています。

託送システムを利用し、貸出期間2週間、合計3枚までお借りいただけます。貸出し方法やDVDリスト等は兵庫県立図書館HPにもアップしておりますのでご覧ください。

図書館やボランティアグループの研修等には是非ご活用ください。

ひきつづき

協会からのお知らせ

表彰者の紹介（敬称略）

永年精勤 安田麻里子（伊丹）
丸川麻由美（稲美）

功労顕著 荻内 和彦（加古川）

令和3年度役員紹介（敬称略）

会 長 村上 元伸（県立）
副会長 井上 勝文（県立）
林 泰三（神戸）
中西しのぶ（西宮）
干谷 葉子（姫路）
理 事 安福真理子（尼崎）
中塚 貴博（加古川）
楠本 昌信（西脇）
松田 清彦（福崎）
小島 理三（丹波篠山）
西川 茂代（新温泉）
佐藤 佳史（南あわじ）
葦津 賢一（議会）
監 事 中田 正仁（伊丹）
長谷川明子（稲美）

令和3年度予算

（単位：円）

〈一般会計〉

事務局費	90,000
事業費	560,000
事業特別会計費	100,000
全公図分担金	43,000
予備費	91,773

〈兵庫県立図書館託送システムの運営経費 一部負担特別会計〉

負担金	500,000
予備費	5,546

令和3年度 地区別研修会

○神戸・阪神地区

「図書館サービスと著作権」／西宮市立中央図書館／12月17日(金)

○東播磨地区

「コレクションづくりの考え方」／兵庫県立図書館／11月25日(木)

○西播磨地区

「公共図書館におけるイベントの企画・運営」／たつの市立揖保川図書館／10月22日(金)

○但馬・丹波地区

「図書館を変える広報力」／朝来市生涯学習センター／11月19日(金)

○淡路地区

「これからの図書館 まちとひとが豊かになるしかけ」／洲本市立洲本図書館／9月24日(金)

令和3年度の大会・研究集会 （今後の予定）

○第107回全国図書館大会山梨大会

「知をつなぐ、甲斐（交ひ）の国から」／11月11日(木)・12日(金)／オンライン配信を視聴（参加者に視聴用ID等を提供し視聴）

○全国公共図書館研究集会

・サービス部門 総合・経営部門

研究課題検討中／11月22日(月)／福岡リーセントホテル

・児童青少年部門

「新しい生活様式の下での児童サービスの在り方」／11月25日(木)・26日(金)／いわて県民情報交流センター

○文科省・図書館地区別研修（近畿地区）

「今図書館に求められるもの」（仮）／令和4年1月26日(水)～28日(金)／オンライン（Zoom）開催 ※京都市生涯学習総合センターから配信

兵庫県図書館協会会報 No.119

令和3（2021）年10月1日 発行

編集・発行：兵庫県図書館協会

〒673-8533 明石市明石公園1-27

兵庫県立図書館内

Tel 078-918-3366 Fax 078-918-2500